



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月5日
上場取引所 東

上場会社名 nms ホールディングス株式会社
コード番号 2162 URL <https://www.n-ms.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野 文明
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 コーポレート本部長 (氏名) 河野 寿子
四半期報告書提出予定日 2022年8月5日 配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

TEL 03-5333-1711

—

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	16,444	10.0	△249	—	△21	—	△138	—
2022年3月期第1四半期	14,944	8.9	40	—	402	—	75	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 △90百万円 (—%) 2022年3月期第1四半期 274百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	△8.89	—
2022年3月期第1四半期	4.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	37,022	2,525	6.8
2022年3月期	34,842	2,693	7.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 2,516百万円 2022年3月期 2,685百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2023年3月期	—				
2023年3月期（予想）		0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	36,000	18.3	△370	—	△340	—	△480	—	△30.88
通期	77,100	21.8	600	—	450	266.2	50	—	3.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	21,611,000株	2022年3月期	21,611,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	6,067,959株	2022年3月期	6,067,959株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	15,543,041株	2022年3月期1Q	16,661,241株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症（以下、感染症）の感染者数が抑制され、活動の制限緩和により社会的経済活動は正常化に向けた回復傾向が続きました。

一方、半導体等の部品不足や原材料価格の高騰が継続、加えて、中国におけるゼロコロナ政策による都市封鎖の影響やウクライナ情勢の長期化懸念、米国を始めとする世界的な利上げ影響が金融市場に与える影響など、先行き不透明感がさらに強まっています。

わが国経済においても、感染拡大防止策とワクチン接種の進展により経済活動に正常化への動きがあったものの、急速に進行した円安による影響、ウクライナ情勢、資源価格や海外の経済・物価動向など、景気の先行きは引き続き予断を許さない状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループにおいては、社員およびお客様の安全確保を最優先しながら、グループ全体で事業基盤の強化を図るべく、合理化、効率化を徹底的に進め、事業効率のよい体制への転換や抜本的コスト構造改革を行ってまいりました。加えて、製造請負事業の強化や海外製造拠点における量産立ち上げなど、事業規模拡大に向けた施策を実行しています。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は16,444百万円（前年同期比10.0%増）となり、需要は堅調に推移したものの、利益においては、部品不足や原材料価格の高騰、中国ロックダウンに伴うコスト増加等の影響があり、営業損失は249百万円（前年同期は40百万円の利益）となりました。また、営業外収益において海外子会社へのグループ内貸付金に対する評価替えおよび海外子会社間の取引等による為替差益332百万円の発生があり、その結果、経常損失は21百万円（前年同期は402百万円の利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は138百万円（前年同期は75百万円の利益）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① HS事業（ヒューマンソリューション事業）

国内事業については、需要が堅調に推移し増収となりました。利益面においては感染症拡大や半導体関連等の部品不足によるお客様の稼働影響に加え、事業規模拡大に向けた採用関連費の増加が利益圧迫要因となりましたが、原価率改善や適正販管費の管理強化等、基盤強化策の実行を進め、収益性改善に努めました。海外事業については、中国においてロックダウン影響を受けましたが、在籍人数増加に加え、基盤強化策の効果もあり、特にベトナム、タイにおける業績が改善傾向となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、5,706百万円（前年同期比6.3%増）、セグメント利益は、143百万円（前年同期比20.8%減）となりました。

② EMS事業（エレクトロニクスマニュファクチャリングサービス事業）

EMS事業は、中国・ASEAN・北中米において生産活動を展開しており、戦略投資の実行期にあります。感染症再拡大に伴う各国政府方針によるロックダウン影響や部品不足等によるお客様の生産計画変更等の影響が残りましたが、中国における新規受注の立ち上げやベトナムにおける量産開始など事業規模拡大により増収となりました。利益面では、売上の増加に加え、各拠点における基盤強化策を進めているものの、部品不足影響とともに重点施策として進めているメキシコ拠点の先行投資コストなどが利益圧迫要因となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、7,426百万円（前年同期比15.3%増）、セグメント損失は、214百万円（前年同期は78百万円の損失）となりました。

③ PS事業（パワーサプライ事業）

PS事業は、中国におけるロックダウンなど感染症拡大の影響とともに、サプライチェーンの混乱や部品不足によるお客様先での生産調整の影響がありましたが、需要は高い水準で推移したこともあり増収となりました。利益面では部品調達難および副資材も含む部材価格高騰や物流コストの上昇などが利益圧迫要因となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、3,311百万円（前年同期比5.6%増）、セグメント損失は、42百万円（前年同期は55百万円の利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産合計は27,945百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,596百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が648百万円、原材料及び貯蔵品が1,833百万円、その他流動資産が278百万円増加した一方で、受取手形、売掛金及び契約資産が1,192百万円減少したことによるものです。

固定資産合計は9,040百万円となり、前連結会計年度末に比べ586百万円増加いたしました。これは主に、有形固定資産が556百万円増加したことによるものです。

繰延資産は36百万円となり、前連結会計年度末に比べ3百万円減少いたしました。

この結果、総資産は37,022百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,179百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債合計は28,711百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,377百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が478百万円、短期借入金が1,785百万円増加したことによるものです。

固定負債合計は5,784百万円となり、前連結会計年度末に比べ29百万円減少いたしました。これは主に、その他固定負債が100百万円増加した一方で、長期借入金が140百万円減少したことによるものです。

この結果、負債合計は34,496百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,348百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は2,525百万円となり、前連結会計年度末に比べ168百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金が215百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は6.8%（前連結会計年度末は7.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2022年5月13日において発表いたしました「2022年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」の通りであります。

なお、当該業績予想は現時点での情報をもとにしておりますので、今後、業績動向の変化を与える事象が生じた場合等には業績予想を変更する場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,131,886	5,780,825
受取手形、売掛金及び契約資産	11,735,694	10,543,271
製品	1,287,937	1,296,206
仕掛品	699,212	720,395
原材料及び貯蔵品	6,132,170	7,965,235
その他	1,373,328	1,651,514
貸倒引当金	△11,081	△12,059
流動資産合計	26,349,148	27,945,390
固定資産		
有形固定資産		
土地	953,021	953,021
その他(純額)	5,744,321	6,300,628
有形固定資産合計	6,697,342	7,253,649
無形固定資産		
その他	722,073	706,531
無形固定資産合計	722,073	706,531
投資その他の資産		
その他	1,033,877	1,080,079
投資その他の資産合計	1,033,877	1,080,079
固定資産合計	8,453,293	9,040,260
繰延資産		
社債発行費	39,663	36,358
繰延資産合計	39,663	36,358
資産合計	34,842,105	37,022,009
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,230,005	5,708,236
短期借入金	16,324,883	18,110,462
未払金	2,239,346	2,334,874
未払法人税等	185,357	116,713
未払消費税等	371,190	486,593
賞与引当金	455,422	425,517
その他	1,527,630	1,529,247
流動負債合計	26,333,836	28,711,645
固定負債		
社債	2,000,000	2,000,000
長期借入金	2,853,065	2,712,869
繰延税金負債	66,339	68,098
退職給付に係る負債	317,143	325,761
その他	577,731	678,123
固定負債合計	5,814,278	5,784,852
負債合計	32,148,115	34,496,497

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,690	500,690
資本剰余金	554,842	554,842
利益剰余金	3,439,757	3,223,802
自己株式	△1,310,407	△1,310,407
株主資本合計	3,184,883	2,968,928
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7,851	△7,650
為替換算調整勘定	△491,954	△445,176
その他の包括利益累計額合計	△499,805	△452,826
非支配株主持分	8,912	9,409
純資産合計	2,693,990	2,525,511
負債純資産合計	34,842,105	37,022,009

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	14,944,676	16,444,028
売上原価	13,236,298	14,991,992
売上総利益	1,708,378	1,452,036
販売費及び一般管理費		
給料及び賞与	696,295	654,178
賞与引当金繰入額	73,666	58,173
その他	897,860	989,487
販売費及び一般管理費合計	1,667,823	1,701,839
営業利益又は営業損失(△)	40,554	△249,802
営業外収益		
受取利息	5,320	2,515
為替差益	399,468	332,475
その他	21,075	24,935
営業外収益合計	425,864	359,925
営業外費用		
支払利息	49,201	56,420
社債発行費償却	3,305	3,305
外国源泉税	612	1,099
その他	10,649	70,442
営業外費用合計	63,768	131,268
経常利益又は経常損失(△)	402,649	△21,145
特別利益		
固定資産売却益	1,682	775
特別利益合計	1,682	775
特別損失		
固定資産除却損	392	258
事業構造改革費用	156,886	—
新型コロナウイルス感染症関連損失	21,672	10,398
特別損失合計	178,951	10,657
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	225,380	△31,027
法人税等	150,207	107,210
四半期純利益又は四半期純損失(△)	75,173	△138,237
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△110	2
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	75,284	△138,239

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	75,173	△138,237
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	589	201
為替換算調整勘定	198,995	47,219
その他の包括利益合計	199,584	47,421
四半期包括利益	274,758	△90,816
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	274,560	△91,260
非支配株主に係る四半期包括利益	198	443

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	HS事業	EMS事業	PS事業	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高						
日本	4,452,594	1,776,527	358,297	6,587,419	—	6,587,419
中国	304,382	809,827	2,776,493	3,890,704	—	3,890,704
マレーシア	—	3,068,747	—	3,068,747	—	3,068,747
その他	610,969	786,835	—	1,397,804	—	1,397,804
顧客との契約から 生じる収益	5,367,946	6,441,938	3,134,791	14,944,676	—	14,944,676
(1)外部顧客への 売上高	5,367,946	6,441,938	3,134,791	14,944,676	—	14,944,676
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	20,404	630,621	109,295	760,321	△760,321	—
計	5,388,351	7,072,559	3,244,086	15,704,997	△760,321	14,944,676
セグメント利益 又は損失(△)	181,009	△78,832	55,007	157,183	△116,629	40,554

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△116,629千円には、セグメント間取引消去6,443千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△123,072千円が含まれております。全社費用の主なものは、当社(持株会社)に係る費用であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. その他の区分に属する国の内訳はタイ、米国、ベトナム、フィリピン、ラオス、インドネシアであります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	HS事業	EMS事業	PS事業	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高						
日本	4,542,625	1,885,612	397,595	6,825,833	—	6,825,833
中国	450,436	1,194,791	2,913,550	4,558,779	—	4,558,779
マレーシア	—	3,256,130	—	3,256,130	—	3,256,130
その他	713,509	1,089,776	—	1,803,285	—	1,803,285
顧客との契約から 生じる収益	5,706,572	7,426,310	3,311,146	16,444,028	—	16,444,028
(1)外部顧客への 売上高	5,706,572	7,426,310	3,311,146	16,444,028	—	16,444,028
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	46,424	581,534	9,512	637,471	△637,471	—
計	5,752,996	8,007,844	3,320,659	17,081,500	△637,471	16,444,028
セグメント利益 又は損失(△)	143,408	△214,130	△42,339	△113,061	△136,741	△249,802

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△136,741千円には、セグメント間取引消去△885千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△135,855千円が含まれております。全社費用の主なものは、当社（持株会社）に係る費用であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。
3. その他の区分に属する国の内訳はベトナム、タイ、米国、ラオスであります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。